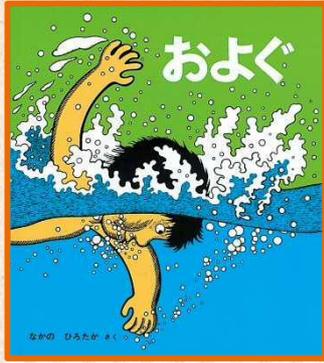


大好き！絵本

初瀬 恵美



『およぐ』

作: なかの ひろたか
出版社: 福音館書店

先日、熊本を含む九州北部地方がやっと梅雨入りしました。梅雨明けは、まだまだですが、本格的な夏を前に子どもたちは、すでにプール遊びを楽しんでいます。

さて、今月は7,8月合同の「からたちだより」ということで、夏にぴったりの絵本『およぐ』を紹介したいと思います。実に、40年以上も前に発行されたこの絵本。『ぞうくんのさんぽ』でおなじみの、なかのひろたかさんの絵本です。『かがくのとも』として発行された絵本なので、内容も、ちょっと科学的。でも、イラストがゴニョクでとても分かりやすい絵本です。

まず、「いぬは いぬかきおよぎ。」と始まります。次はねこです。みなさん、ねこは何およぎだと思いますか？正解は「ねこもいぬかきおよぎ。」でした。それどころかゾウやライオンたちも「みんな おなじ いぬかきおよぎ。」と絵本は続きます。(笑)

「でも、なぜ およげるのだろう。それは からだが みずに うくからだ。」とここからが、科学的！「どうぶつも にんげんも からだのなかに うきぶくろをもっている。ぶくらんだ ふうせんが みずにうかぶのと おなじように はいに すいこんだ くきが うきぶくろの はたらきをして にんげんの からだは みずに うきやすくなるんだ。」と分かりやすい説明があり、実際に顔をつけて泳ぐまでを絵本にしています。水が怖いと思っている子どもたちや「およぐ」って特別な事のように感じている子どもにも、とても、分かりやすく、おもしろい絵本になっていると思います。興味を持たれた方、ぜひご覧になってみてください。

